

総務文教厚生常任委員会視察報告

令和6年12月20日（金）

総務文教厚生常任委員会の視察報告をさせていただきます。

①10月31日、佐賀県小城市の「市庁舎防災機能強靱化事業」について、②11月1日、「伊万里市民図書館について」視察を行いました。

①の小城市は人口約4万4,000人、田園地帯に建設された防災拠点の市庁舎に太陽光パネルと蓄電池を導入しています。24時間365日庁舎の電力を太陽光で発電した電力で賄う自給自足のシステムで、停電の影響を受けないため、災害時でも防災活動の拠点として機能維持が可能であり、電力会社から電力需給しないため、大幅な電気料金の削減となります。

さらに、100%ZEB（「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル」略称「ゼブ」）で、ZEBとは、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物とのことです。年間62万4,590kWh、電気料金約1,000万円、CO₂量361.64t-CO₂を削減しています。

設備の概要は、太陽光パネル1,200枚は駐車場の屋根を活用し、蓄電池（鉛蓄電池）1,728個は別棟の建物2階部分に制御室も兼ねて収納され、ほぼ自動で管理されています。

事業費として、経費約8億7,000万円。財源は、国庫補助金で環境省の地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する避難施設等への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業から2億9,855万7,000円、地方債から5億4,660万円、残りが一般財源となっています。

次に②の伊万里市は、人口約5万2,000人、佐賀県西部にあり、磁器（伊万里焼）で有名です。

伊万里町立図書館が昭和42年の大水害で被害を受けて移転し、小規模な図書館であったことから、母親たちが「図書館づくりをすすめる会」を昭和61年に立ち上げ、滞在型図書館を目指して設計段階から市民関わった図書館です。平成3年に自動車図書館「ぶっくん」の巡回開始、平成5年に2号も開始、平成7年「伊万里をつくり 市民とともにそだつ 市民の図書館」を目標に開館しました。

総事業費23億6,480万円、財源は地方債16億6,170万円、積立金6億5,000万円、一般財源5,310万円となります。

職員体制は22名、館長1名（任期付公務員、5年目）、正規職員6名（うち司書5名）、会計年度任用職員15名（うち司書7名、窓口6名、運転手1名）で運営されています。

開館時間は、火～日曜日が10時～18時、金曜日は10時～20時です。

新世紀の図書館を目指して、目的も掲げられています。

- ①自由で公平な情報を提供し、市民の知的自由をまもる図書館
- ②将来の伊万里をつくる子ども達に夢をそだてていく図書館
- ③本のある出会いの広場、文化を育むオアシスとしての図書館
- ④全ての市民に開かれた市民のライフスタイルを高める図書館

蔵書収容能力は最大48万冊、現在は約35万3,000点、自動車図書館他が3万6,

000点です。令和5年度の貸出点数は32万9,387点、市民1人当たり6.34点、1日当たり1,193点です。書棚は、高さ170cmで車いすでも見やすく設定され、子どもの本は、140cmの高さです。市民の声により、書斎のようなコーナーを設けてあり、ここは無音、館内は小さな音でBGMが流れています。登り窯のようなアイデアの詰まったお話の部屋もあります。市議会図書室にも司書が行政資料を定期的に入替えし、議員に活用されているそうです。

伊万里市民図書館が目指している図書館の姿は、
図書館サービスのライフステージごとの目標

- ・幼い子らにはいのちをはぐくむ絵本を
- ・成長期の子どもには心の糧となる本を
- ・学ぶ若者には知識欲を満足させる本を
- ・社会人には生活や仕事に役立つ本を
- ・お年寄りには豊かな人生を振り返る本を

図書館は、ひとづくり・まちづくりを支える成長する施設です。

最後に、伊万里市民図書館設置条例を紹介します。

設置及び目的

第1条 伊万里市は、すべての市民の知的自由を確保し、文化的かつ民主的な地方自治発展のため、自由で公平な資料と情報を提供する生涯学習の拠点として、伊万里市民図書館を設置する。

館長さんのお話を伺い、市民にとって図書館が重要な施設だと再認識いたしました。

なお、詳しい資料は事務局に保存されています。

最後に、委員の所感を紹介します。

①小城市の市庁舎防災機能強靱化事業について、太陽光発電と蓄電池等を組み合わせて災害対策本部となる市庁舎の自給自足を目指されているのは、素晴らしいこと。ベースロード電源にも接続され、なお完璧な対策が取られていること。駐車場の屋根を利用していることも評価できるし、地球気候危機のもとで柳井市でも緊急に取り組むべき課題では、との御意見もありました。

②伊万里市民図書館についてでございます。伊万里市民図書館設置条例の目的、文化的かつ民主的な地方自治の発展のためとうたわれていること。行政と対等な立場でいるようにと補助金を受けずに運営をしていること。書棚の高さや棚の角度、数々のアイデアに満ちた取組にも感銘した。バス図書館「ぶっくん」を柳井市でも検討できないものか。みどりが丘図書館においても市民の意見を取り入れて進化させていく必要があるのでは、との御意見もありました。

以上で視察報告とさせていただきます。